

令和 7 年度 大森地区町政懇談会

開催日時 令和 7 年 10 月 9 日(木) 午後 7 時～午後 8 時

開催場所 大森公民館

出席者 立山町 舟橋町長、杉田副町長、杉田教育長、清水総務課長、
作田教育課長、山田商工観光課長、石黒補佐、
野田建設課長、寺崎課長補佐
大森地区自治振興会 高原 光代 会長
企画政策課 瀬本課長、柳田課長補佐、山本係長、富崎主任

参加者数 58 名（うち町職員 7 名）

1 挨拶

町長 挨拶

高原会長 挨拶

2 懇談会

（1）町からのお知らせ（建設課より説明）

①空き家等の対策について

（2）質疑応答

●空き家の持ち主が不明な場合（相続放棄、相続人が亡くなった場合）はどうなるのか （建設課長）

所有者不明の場合、町で相続人を調べるので該当箇所を教えてください。持ち主不明の場合、最終的には国の補助を受けて町が取り壊します。

●取り壊しは町の税金を使うのか （建設課長）

その通りです。国の補助を活用し、町が実施します。

（町長）

該当箇所を建設課にお知らせください。所有者不明の土地建物の対応方法があります。利害関係人が居ない場合は、町長が裁判所に申し出て手続きを進めます。建物だけでなく、更地でも同様なので、ぜひ、相談してください。

（3）地区協議事項

1. 企業誘致について

大森地区の立地状況からみて（流杉スマートインターチェンジが近い、スーパー農道沿い、立山連峰の景観がよい）、地区発展のために企業誘致を望んでいる。

① 地区としてどのような準備をしたらよいのか

② 他地区（例：利田地区）はどのような経緯で企業誘致に至ったのか

(商工観光課長)

立山町では、これまで利田地区や塚越地区、立山インターチェンジ周辺地区などを中心に、企業誘致を進めてまいりました。

利田地区は、昭和 40 年代に「中越合金鋳工株式会社」や「佐藤鉄工株式会社」が立地したこと、また、隣接する塚越地区は、昭和 50 年代に都市計画における用途地域として「工業地域」が設定されたことなどから、企業の立地が進みました。

一方、立山インターチェンジ周辺は、農業振興地域の除外に時間がかかるため、企業の立地計画に間に合わない場合が多く、思うように進んでいません。

企業が町に進出される経緯は様々ですが、例えば、富山市内に工場を持つ企業が、既存工場の周辺での拡張が困難となり、富山市から比較的近く、まとまった用地を確保できる場所として、立山町を選ばれるケースがあります。

企業誘致の手法としましては、先に企業団地を造成して分譲する方法と、進出を検討する企業の要望に合わせて造成する方法があり、立山町は後者の方法で行っています。具体的には、企業からどのような用途でどのくらいの面積が必要か、また、電力や水の必要量などを伺い、適地を提案していく流れとなります。

今回ご質問の大森地区としての準備としましては、今後、企業から進出の相談があった場合には、事業用地として、大森地区も含めて情報提供してまいりますので、企業が大森地区での進出を希望された段階で、企業が希望する広さに合わせて地権者の方々に土地をお譲りいただくこと、また、大森地区の優位性は地下水が豊富であることなので、地下水を取水することについてご理解をいただくことなど、ご協力をよろしくお願いいたします。

2. 常願寺川河川の樹木の伐採について

洪水災害の危険性を感じている。水量の増加（激流）時に河川機能を低下させないよう、河川敷の雑木伐採をお願いしたい。

R 5 町政懇談会や R 6（R 7 も）地区要望にて継続要望しており、その進捗状況が知りたい。

クマ対策として、河川敷内の移動を容易にさせないためにも、緊急的に伐採をお願いしたい。

(建設課長)

ご要望の箇所について、常願寺川を管理する国土交通省 北陸地方整備局 富山河川国道事務所 常願寺川流域治水出張所に確認したところ、「堤防の構造に影響を及ぼす樹木や河川巡視時に視界を遮る樹木など、河川管理上支障となる樹木について、現地の状況を調査し、優先度の高い箇所から本年度も引き続き樹木を伐採する予定である。今年度、具体的には、県道立山山田線の立山橋周辺の中洲にある樹木を伐採する。」と回答を受けました。

なお、明日 10/10 に開催されます北陸直轄河川治水期成同盟会連合会富山県意見交換会の場において、国土交通省北陸地方整備局長や河川部長に対し、現地の状況について意見し要望いたします。

引き続き、河川管理に支障となる樹木の伐採などの河川区域内の維持管理の強化について、国に要望してまいります。

3. 大森公民館のグラウンドの排水について

大森地区唯一のグラウンドは、住民の健康・コミュニケーションの大切な場所であり、全国大会を目指している大森ソフトクラブの練習場でもある。ここ数年、グラウンドの排水が非常に悪い状態になっている。段階的に整地をお願いしたい。

(教育課長)

大森グラウンドは、旧大森小学校のグラウンドとして整備したもので、現在は、大森公民館の施設の一部として、主に地元ソフトボールクラブや大森地区の運動会等で使用していただいております。

グラウンドの管理については、公民館として管理を始めてから大きな改修等は行っておりませんが、地元の方々、公民館職員やグラウンド使用者による除草作業や土の補充等のご協力により、維持管理しております。

ご要望のグラウンドの排水については、整備後の経年による劣化もあり、北側部分が公民館の建物に向かって傾斜し、土砂が建物に向かって流れる状況となっていることから、グラウンド中央の土が減り、グラウンド表層下に設置してある雨水の排水が十分に機能していない状況となっています。

このことから、スポーツ施設等のメンテナンスを行っている事業者に当グラウンドの現状や管理等についての助言を受けたところ、グラウンド全体に根を張った草が多いため、一般的なグラウンド管理のためのランニングマット等で均しても、適切な管理ができないとのことで、表層部を3cm程度削り、草の根部分を除去した後に、土を補充しグラウンドの傾斜を無くすことにより、排水機能も回復するとのことでした。

この助言に基づき、年内のグラウンド使用の予約が入っていない11月以降に排水機能が回復する程度の範囲の表層部を切削し、新年度の早い時期に土砂の補充や整地等を考えておりますのでご理解をお願いいたします。

(4) 意見交換

●新常願寺橋の上から、常願寺川の上流と下流の写真を撮影した。

西大森の大石のあたりは高い雑木が茂り川幅が狭くなっている。雑木が多く、堤防から川の流れは確認できない。

約10年前に、西大森の近くで町が樹木の伐採を行ったが、もう元に戻っている。

水位の上昇と流速の変化、洪水時に水位が上昇し、堤防が決壊するのではないかと、また、流木が発生し橋げたに引っ掛かり、川の流れが悪くなる。橋が決壊し、交通に影響を及ぼすのではないかと心配である。

問題を次世代に先送りしないよう対策が必要と考える。

(町長)

十数年前に地区住民にも協力いただき、チェーンソーを使って樹木の伐採をしました。

国で維持管理してもらえないことから、町として行いアピールしたものです。

国土交通省によると、維持管理費が出なくなり、樹木が伸び、伐採により、費用がかかるようになったと聞いています。

常願寺川は急流河川であり、流れにより底が崩れるそうで、利田では、根固め工法で勾配を安定させていますが、これに合わせて樹木を切った経緯があります。

今年、高速道路でクマが出たのは、法面に草木が繁茂しており山と勘違いしたからだと考えられるので、河川の維持管理としてではなく、クマ対策として予算を集めてほしいと要望したところでした。

日頃からこの要望をしており、今後も要望を継続していきます。

中日本高速道路にも連絡し、高速道路の法面の樹木伐採についても要望したところでした。

●町政懇談会や町長への手紙へのフォローについてお願いしたい。

①以前、剪定枝の分別、ゴミの出し方について要望したが、一覧表への掲載も対応をお願いしたい。

②ある方の投稿「シマヤでもたてぽポイントが使えるように。」当時の町の回答は、シマヤは対象外だと回答あったが、今、シマヤでたてぽポイントが使える。

町の回答の訂正をわかりやすくしてほしい。

(町長)

剪定枝については、当時、町から環境センターに指示し対応しました。ポスターについては在庫がまだあるので、次回印刷時に対応すると聞いています。

シマヤは、20倍キャンペーンは対象外となっています。利用対象店舗はチラシで確認できますので、そちらでご了承ください。

●農業について

昨年からの米不足の問題がある一方で、採算合わない、後継者いないという理由から農業従事者が減っている。

大森の中で基盤整備していないのが大清水だけである。企業誘致の声もあるが、米が足りないと言っている中、今後、基盤整備することはないのか。

(町長)

国は基盤整備に積極的であり、基盤整備については農林課に相談してください。

集約化事業として、担い手として専業農家等まとめてやっている方が中心となるか、農業法人をつくって集約化をすることが考えられます。集約化することによって基盤整備しやすくなります。問題としては、基盤整備すると、最低でも8年間は農地転用が認められないので、それを踏まえて、地域で話して、検討してください。いろいろなメニューがあるので農林課にご相談ください。

例えば、農地耕作条件改善事業で、面積が小さくても該当する事業があります。受益者2人以上、200万円以上から対象です。

●前回2年前の町政懇談会で要望したことに、すぐ対応していただいた。転落防止柵や上東用水の件、泊新の自治会の法人化など、描いていた以上の結果になった。町幹部のみなさんの動きによって、泊新がいい方向にいったことに感謝している。

●毎年夏、7、8月に暴走のバイクが堤防道路を行き来している。23時～1時深夜に、爆音で走る。一直線の堤防が絶好の場所となっている。毎日ではなく、いつ出没するかわからない。

町としても把握していただき、上市警察署と連絡をとりあっていただきたい。

サッカーグラウンドのところはトイレもあり、たまり場になりやすい。

町にも共通認識をもっていただきたい。

(町長)

ご近所で大変だったと思います。土曜日が多い印象。

上市警察署長に連絡いたします。

- 先日、ボヤがあった。消防団の消防車が点検中の場合、富山市では代車の対応をしていると聞いた。町ではどのように対応するのか教えてほしい。

(町長)

消防長に確認します。富山市がどのように対応しているのか調べさせてください。

●クマの出没について

- ① 高速道路には柵があるが、侵入経路はわかっているのか。用水に水がないことが原因なのか
- ② 子どもの通学バスの見送りとお迎えを地域住民が担っているが、クマが心配

(町長)

クマがどこから来たかはわかりませんが、子グマでも柵を飛び越えると聞きました。用水の水がないことも原因のひとつになることがあると考えます。鳥獣被害対策実施隊のご協力により対応しているところですが、町としては、常願寺川の樹木の伐採と上段丘陵の樹木の伐採を進めたいと考えています。

柿を伐採する補助なども引き続き実施しております。

こども達の見守りは、複数人で気を付けて対応をお願いいたします。

3 閉会

佐藤議員 挨拶

終了